



日本共産党掛川市議会議員
勝川志保子・掛川市塩町3-7
☎22-1325・FAX22-3883・Eメール sihoko@mbr.nifty.com

しほこ通信 NO159
2020.9.16

勝川しほこ 検索

一般質問での燃やすごみの減量化の提案

ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)ってご存じですか？

リデュース ごみそのものを減らしていくこと。ごみを出さないう生活への切り替え

リユース 何度も使う。再利用できるものに切り替えていく。マイバッグ・マイボトル運動など

リサイクル 資源として使う。古紙や古布、缶や瓶などのリサイクル。いらなくなったものを他の人に使ってもらおう

大量生産使い捨てから、地球に優しい生き方に切り替えて地球環境を守ろうという持続可能な社会SDGsの考え方に沿った理念です。

落ち葉や草を何で地球に返さないで燃やすのか。堆肥化して市民に無料で配る仕組みを作っている自治体もあります。街路樹の落ち葉を一生懸命お掃除してもごみが増えるだけなんではいけないと思いませんか。生ごみ処理機や剪定枝のコンテナ助成制度などの復活も考えてほしいです。

コロナ禍でリサイクルの仕組みがストップしてしまいました。地域の古着屋さんも閉店。持って行き場のない布がごみとなり、今回の焼却炉の故障原因にもなりました。まだまだ使えるものをうまくまわす仕組み作りにも取り組んでほしい。東京の多摩地区では事業系のごみを減らしました。分別の徹底をお願いし、ちゃんとした分別が行なわれているかをチェックしてそれを市民にも公表、手数料も上げた立川市などは10年で事業系可燃ごみが3割以下にまで減っています。



季節が秋にかわり、花も秋の花に実生を育てた ケイトウ

混じり込むプラや紙類も本当はリサイクルにまわすもの。家庭と共に事業所にもしっかりと働きかけをして市内の企業にも「地球に優しい企業」になってほしいと思います。

赤旗日曜版 日本ジャーナリスト会議(JCJ)大賞受賞

桜をみる会の一連のスクープが「安倍政権の本性を明るみに出したスクープは国政、メディアに大きなインパクトを与えた」ということで、優れたジャーナリズム活動・作品に贈られる2020年JCJ大賞を受賞しました。権力監視に本気で取り組む姿勢、全国に1万8000の支部がある共産党の取材網ならではの受賞です。興味のある方には、見本紙をお届けします。ご連絡下さい。

日本共産党発行
しほこ 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

自民党新総裁(つまり新総理大臣)

すがよしひで
菅義偉氏とはどういう人なのか

・消費税を引き上げる

批判を受けてあわてて火消しに回っていますが、コロナ禍の中消費税引き下げを行なう国がある中で信じられない発言です。国民の窮状は全く目に入らない。

・安倍政治を継承する

もともと長期政権を支えてきた人物です。憲法の改悪をめざし、新自由主義のもと格差と貧困を拡大させたアベノミクスも継承、大企業と富裕層のための政治を続けるということです。

・自助・共助の自己責任論

コロナ禍での自助ってなんででしょう。自分で何とかしろ、という自己責任論そのものです。コロナ対応も安倍さんを絶賛しています。

・政策に反対する官僚は異動(左遷)

安倍政権も物言わぬ官僚を育て上げましたが、就任前にこれを明言する。国家は会社とは違います。反対意見も言えない。若者が国家公務員を目指さなくなることも危惧されます。

安倍政治の継承を許さない！
総選挙で決着をつけましょう！